

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
宮内・十日町地区

平成24年2月

新潟県長岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	危険箇所復旧率	%	60	100	100	確定	○	あり	100	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	危険箇所を整備したことにより、災害時の安全性の向上が図られた。また、走行空間の快適性向上につながった。さらに、道路ネットワークが形成されたことにより、災害時の避難や救助の際に、複数の経路が選択できるようになった。
指標2	自主防災組織の会議	回/年	1	3	3	確定	○	あり	3	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域防災マップ作成事業等により自主防災組織の会議等が活発に行われ、地区住民の防災意識の向上が促進した。
指標3	-	-	-	-	-	確定	-	あり	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	住環境の向上に関する住民満足度	%	-	/	72	確定	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路整備や防災施設の設置による利便性・安全性の向上や、地区住民の防災意識の向上により、総合的に住環境がよくなったと感じる結果につながった。
その他の数値指標2	-	-	/	/	/	確定	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-
その他の数値指標3	-	-	/	/	/	確定	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を持続させるために 行う方策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路網の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路拡幅改良事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生整備計画以外の危険箇所の整備により、道路ネットワークの形成が充実した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民と協働による、継続した道路の維持管理が必要である。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村集落の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民相互支援の仕組みづくりの推進</li> <li>・コミュニティセンターを活用した住民のコミュニティ活動の促進等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会の情報伝達訓練や防災訓練により、災害時の情報伝達体制の構築が図られ、農村集落の防災性が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会等を活用し、市民相互支援の仕組みづくりや農村集落のコミュニティを活用する取り組みが必要である。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災性・安全性の高い地域づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路・河川、避難施設の維持管理</li> <li>・情報伝達訓練</li> <li>・すまいの耐震改修促進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路・河川、避難施設の地域住民による維持管理により、危険な箇所や不足施設の早期発見につながった。</li> <li>・情報伝達装置の設置により、地区住民の防災意識の向上や災害発生時の情報伝達体制の基礎が構築できた。</li> <li>・個人住宅の耐震化が促進され、防災性・安全性が高い地域づくりが推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民と協働による、生活道路・河川、避難施設の維持管理や情報伝達訓練等により、継続的に防災性・安全性の高い地域づくりに努める。</li> <li>・設置した情報伝達装置を災害時に活用できるよう、住民の連絡体制強化及びソフト施策の拡充が必要である。</li> <li>・今後も個人住宅の耐震化が促進されるよう、各種の情報提供や支援策、助成制度のPRに努める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>改善策</li> <li>・まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>・残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>・その他 必要な改善策</li> </ul>	-			

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
-			

都市再生整備計画(清算報告)

みやうち とおかまち ちく  
宮内・十日町地区

にいがたけん ながおかし  
新潟県 長岡市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	ながおかし 長岡市	地区名	みやうち とおかまち 宮内・十日町地区	面積	960 ha
計画期間	平成 18 年度	～	平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度	～	平成 22 年度

<p><b>目標</b></p> <p>災害に強くうるおいのあるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○避難路の整備。</li> <li>○地区住民の防災意識の向上と、災害発生時の施設の拡充を図る。</li> <li>○復興と併せて災害に強い都市構造の実現、農村集落の防災性向上と併せた活性化、住環境の向上を目指す。</li> </ul>
<p><b>目標設定の根拠</b></p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>○当該地区は、東側を自然豊かな東山連峰とそのふもとに広がる農業地帯が占めていて、地区内の優良農地や東山の森林は市民にとって食料生産や環境保全のための貴重な基盤であることから、これらを適切に維持し、保全していく必要がある。地形的には、丘陵地から平野部に変わる位置にあり、裾野を唯一の幹線道路である県道が走り、各集落からの生活道路が幹線道路へと接続している。生活道路は地形的な制約から、曲がりくねり、狭隘な道路が多く、背後に多くの急傾斜地崩壊危険区域や砂防河川の指定区域を抱えていることから、土砂災害の危険性がある区域である。平成16年7月13日に発生した「7.13梅雨前線豪雨」と10月23日に発生した「新潟県中越地震」により人的被害はなかったものの、甚大なる被害を受けた地区であり、被災した生活道路は大規模な被害、小規模な被害および今回は被災しなかったものの危険性が高い箇所等、修繕が必要な箇所が数多くある。</p> <p>○地区の自主防災組織は数年前から組織され、市の防災訓練等にも参加し活動を行っている。今回の被災にあっても、組織員が自主的に集落内を巡視し、一部地域では自主避難の勧告も行った。ただ住民に防災意識が浸透していなかったため、その指示に従わず、後に自衛隊の救援要請を仰いだことや各世帯で3日分の食糧、水、エネルギーを確保する必要があることなどから、地区の防災意識を高める必要がある。</p> <p>○「7.13梅雨前線豪雨」により被災した生活道路の整備には大規模な被災箇所から小規模な被災箇所が多く点在。「新潟県中越地震」では、多くの箇所道路寸断（国道5箇所、県道8箇所、主要地方道4箇所）が起こった。1つの道路が寸断されても中心部と集落の交通が途絶しないように迂回路を確保することが可能な道路網を整備が必要。非常時における避難路として利用を想定しつつ、日常的には、自転車や徒歩で散策を楽しめるルートとして、既存の道路への歩道の設置や川沿いの遊歩道の整備を行う事が求められている。</p> <p>○一連の災害では、農村集落の孤立や避難所として指定されていた建物が被害を受け、避難所として機能しなかった等の問題が起こった。復興に併せ、農村の基盤整備を行い、防災性を向上するとともに活性化を図ることが求められている。</p>
<p><b>課題</b></p> <p>「7.13梅雨前線豪雨」及び「新潟県中越地震」により甚大な被害を受けた当該地区において</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路網の強化（生活道路の整備）が必要である。</li> <li>○農村集落の防災性向上と併せた活性化が必要である。</li> <li>○ソフトな防災力の向上が必要である。</li> </ul>
<p><b>将来ビジョン(中長期)</b></p> <p>○当該地区内の小規模被災箇所や、防災面・交通安全面などに問題ある箇所など、まちづくりに必要な事業を総合的に推進し、地域の防災性・安全性の向上を図る。</p> <p>○当該地区の防災マップを地区の自主防災組織とともに作成する事で、地区の防災意識の向上と地区コミュニティの形成が図られ、活力のある地域づくりを推進できる。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
危険箇所復旧率	%	当該地区における危険箇所復旧率	危険箇所を整備し、災害時の安全性の向上を図る。	60	H18	100	H22
自主防災組織の会議	回/年	自主防災組織、地区住民の勉強会開催回数	地域防災マップ及び災害情報コンテンツ提供マニュアルの作成をテーマに、自主防災組織の会議を開催し、地区住民の防災意識の向上を図る	1	H18	3	H22

都市再生整備計画の整備方針等

<p>計画区域の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難路の整備 生活道路の整備を行い、道路網の強化を図る</li> <li>・農村集落の防災性向上 情報伝達機能の強化</li> <li>・ソフトな防災力の向上 ア. 災害情報内容の検証     ○緊急告知FMラジオの情報提供内容の有効性についての検証 イ. 地域住民の防災意識の高揚     ○自主防災組織により「地域防災マップ」を作成し、市民相互支援の仕組み(仮称市民助け合いシステム)構築</li> </ul>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路整備事業(基幹事業)</li> <li>○公共土木施設災害復旧事業(関連事業)</li> <li>○地域生活基盤施設(地域防災施設の整備)(基幹事業)</li> <li>○公共土木施設災害復旧事業(関連事業)</li> <li>○地域防災マップ及び情報伝達コンテンツ提供マニュアル作成(提案事業)</li> <li>○まちづくり交付金事業実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業)</li> </ul>
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	229	交付限度額	92.2	国費率	0.403
---------	-----	-------	------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹都市再生整備計画		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費		
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度							
道路	地方道	東幹線15号線	長岡市	直	900	H18	H18	H18	H18	12	12	12		12		
道路	地方道	東幹線27号線	長岡市	直	400	H18	H18	H18	H18	10	10	10		10		
道路	地方道	宮内200号線	長岡市	直	185	H18	H18	H18	H18	5	5	5		5		
道路	地方道	宮内568号線	長岡市	直	17	H18	H18	H18	H18	1	1	1		1		
道路	地方道	宮内194号線	長岡市	直	268	H18	H18	H18	H18	7	7	7		7		
道路	地方道	宮内209号線	長岡市	直	296	H18	H18	H18	H18	8	8	8		8		
道路	地方道	宮内216号線	長岡市	直	66	H18	H18	H18	H18	2	2	2		2		
道路	地方道	宮内526号線	長岡市	直	88	H18	H18	H18	H18	3	3	3		3		
道路	地方道	六日市82号線	長岡市	直	34	H18	H18	H18	H18	1	1	1		1		
道路	地方道	東幹線37号線	長岡市	直	442	H18	H18	H18	H18	8	8	8		8		
道路	地方道	山通84号線	長岡市	直	42	H18	H18	H18	H18	1	1	1		1		
道路	地方道	山通85号線	長岡市	直	21	H18	H18	H18	H18	1	1	1		1		
道路	地方道	宮内224号線	長岡市	直	300	H18	H18	H18	H18	8	8	8		8		
道路	地方道	宮内225号線	長岡市	直	61	H18	H18	H18	H18	2	2	2		2		
道路	地方道	宮内227号線	長岡市	直	117	H18	H18	H18	H18	3	3	3		3		
道路	地方道	宮内229号線	長岡市	直	100	H18	H18	H18	H18	3	3	3		3		
道路	地方道	宮内230号線	長岡市	直	101	H18	H18	H18	H18	3	3	3		3		
道路	地方道	宮内233号線	長岡市	直	197	H18	H18	H18	H18	5	5	5		5		
道路	地方道	宮内235号線	長岡市	直	100	H18	H18	H18	H18	3	3	3		3		
道路	地方道	山通100・101号線	長岡市	直	300	H20	H22	H20	H22	77	77	77		77		
道路	地方道	宮内231号線	長岡市	直	200	H19	H19	H19	H19	19	19	19		19		
道路	地方道	宮内233号線(横枕地区)	長岡市	直	20	H19	H19	H19	H19	2	2	2		2		
道路	地方道	宮内233号線(町田地区)	長岡市	直	20	H19	H19	H19	H19	4	4	4		4		
地域生活基盤施設		-	長岡市	直	-	H19	H22	H19	H22	36	36	36		36		
合計										224	224	224	0	224		
提案事業																
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費		
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度							
地域創造支援事業	地域防災マップ他の作成														長岡市	直
事業活用調査	まちづくり交付金事業実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業	長岡市	直		H22	H22	H22	H22	2	2	2		2			
合計										5	5	5	0	5		
												合計(A+B)		229		
(参考)関連事業																
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費					
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度						
公共土木施設災害復旧事業	道路災害	長岡市	国土交通省			○					未完					
合計										0						